

20世紀最高のバレリーナ、マイヤ・プリセツカヤ氏唯一の『白鳥の湖』全幕映像。 「プリセツカヤの『白鳥の湖』1976」追悼放送

＜放送日程＞ 6月8日(月)21:00～23:20 他

日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル「クラシカ・ジャパン」(株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10/代表取締役社長 植村徹)は、5月2日に89歳で惜しまれつつこの世を去った20世紀最高のバレリーナ、マイヤ・プリセツカヤ氏に哀悼の意を表し、プリセツカヤ氏が演じた『白鳥の湖』唯一の全幕映像、「プリセツカヤの『白鳥の湖』1976」を6月8日(月)21時～他にて放送いたします。

『白鳥の湖』の初演から100年を記念して作られた当番組では、当時51歳のプリセツカヤ氏が27歳のアレクサンドル・ボガティリョフと魅せる美しい姿を収めた、まさに伝説の貴重映像をご覧ください。

『白鳥の湖』では、プリセツカヤ氏による波が揺れ動くような白鳥の腕の動きが大評判を呼び、今日殆どのバレリーナが彼女の腕の使い方を踏襲しています。ソ連政権下で強い苦境にも決して屈することなく、「闘う白鳥」の異名の通り、その誇りを貫く姿はオデット／オディールに反映され、今なお全世界に感動を与えています。
永遠に色褪せることのない魂の名演を是非、ご覧ください。



「プリセツカヤの『白鳥の湖』1976」©GTRF

マイヤ・プリセツカヤ

1925年、モスクワのユダヤ系の家庭に生まれる。スターリン時代にスパイ罪で父親が銃殺、母親は収容所へと送られ、残されたマイヤはバレエダンサーだった叔母のもとで養子として育てられる。

1943年、ボリショイ・バレエ団に入団。47年には『白鳥の湖』で主役を務めるなど活躍する一方、ソ連政権から亡命候補のブラックリストに挙げられ厳しい監視下に置かれるなど様々な苦境を強いられる。その様な状況下でも、決して屈することなくバレエの道を究め、1959年に行った初の本格的な海外公演となる米国公演で世界に衝撃を与え、以降のバレエ界における基準をも大きく変える存在となる。同年にはソ連人民芸術家の称号も授与された。

また、私生活では1958年に作曲家のロディオン・シCHEDリンと結婚。1960年代にはボリショイ劇場の首席バレリーナに任命された。さらに振付家・バレエ演出家にも挑戦、以降もローマ・オペラ・バレエや、マドリードのスペイン国立バレエで芸術監督を務めるなど、バレエ界を牽引し続けた。親日家としても知られ、2006年に第18回高松宮殿下記念世界文化賞の演劇・映像部門を授賞、2011年には旭日中級章も授賞した。

＜放送情報＞

チャンネル
初放送

プリセツカヤの『白鳥の湖』1976

【初回放送】6月8日(月) 21:00～23:20 他

1947年から30年以上にわたり、オデット／オディールを800回以上踊ったといわれる20世紀最高のバレリーナ、マイヤ・プリセツカヤ唯一の『白鳥の湖』全幕映像。

プリセツカヤ51歳、ジークフリートのアレクサンドル・ボガティリョフ27歳。伝説の貴重映像。

『白鳥の湖』は元々、ウラディーミル・ベギチェフ&ワシリー・ゲルツァー台本によるものが1877年3月4日ボリショイ劇場で初演された。1895年の蘇演以降も、様々な演出家によって異なる改訂版が作られ、1969年には『白鳥の湖』初演時のベギチェフ&ゲルツァー版を、当時のボリショイ劇場芸術監督ユーリー・グリゴローヴィチが改訂した「グリゴローヴィチ版」が初演された。

当番組は、『白鳥の湖』初演から100年を記念して、プリセツカヤがそのグリゴローヴィチ1969年初演版を華麗に舞う、1976年収録の貴重映像。



「プリセツカヤの『白鳥の湖』1976」©GTRF

【振付&台本】ユーリー・グリゴローヴィチ【オリジナル振付】マリウス・プティパ&レフ・イワノフ【音楽】チャイコフスキー：『白鳥の湖』Op.20 【出演】マイヤ・プリセツカヤ(オデット／オディール)アレクサンドル・ボガティリョフ(ジークフリート)ボリス・エフィモフ(ロットバルト)ウラディーミル・アプロシモフ(道化)ガリーナ・ブリツヴェオリナ(ハンガリーの花嫁候補)タチアーナ・ガヴリーロヴァ(ロシアの花嫁候補)ガリーナ・テセルキナ(スペインの花嫁候補)ガリーナ・コスロヴァ(ナポリの花嫁候補)イーレーナ・ヴォジアンノヴァ(ポーランドの花嫁候補)ボリショイ・バレエ団【指揮】アリグス・ジュライティス【演奏】ボリショイ劇場管弦楽団【収録】1976年クレムリン大宮殿

【クラシカ・ジャパン】ドイツで誕生した世界初のクラシック音楽専門チャンネル“CLASSICA”の日本版で、1998年に開局した日本で唯一のクラシック音楽専門TVチャンネル。話題のコンサートからオペラ、バレエ、ドキュメンタリーまで、毎月100タイトル以上の音楽番組を放送中。クラシック音楽の名曲を、ホールの臨場感とともに毎日24時間お楽しみいただけます。スカパー！プレミアムサービス(637ch)、スカパー！プレミアムサービス光(637ch)、全国のケーブルテレビ局、ブロードバンドTVでご覧頂けます。

■視聴に関するお問い合わせ先■
クラシカ・ジャパン <http://www.classica-jp.com> カスタマーセンターTEL:045-330-2178 (受付時間：平日9:30～18:30 ※土日・祝日除く)

■本リリースに関するお問い合わせ先■
(株)東北新社 放送本部 プロモーション部 担当：林[m-hayashi@tfc.co.jp]
〒107-8460 東京都港区赤坂4-8-10 TEL:03-5414-0305 FAX:03-5414-0433